

第 4 編

研究委員会

● 主な内容

1. 特殊材料溶接研究委員会…………… 117
2. 原子力研究委員会…………… 119
3. 化学機械溶接研究委員会…………… 123
4. 溶接データシステム研究委員会…………… 127
5. ロボット溶接研究委員会…………… 130
6. 表面改質技術研究委員会…………… 133
7. 溶接・接合プロセス研究委員会…………… 135
8. レーザ加工技術研究委員会
(LMP委員会)…………… 137
9. 非破壊試験技術実用化研究委員会… 140

第4編 研究委員会

協会事業活動の大きな柱として技術調査・開発研究に取り組んでおり、その一つである研究委員会（以下、委員会）について取り上げる。

委員会は溶接技術にかかわる専門事項の調査・研究または審議を行うところで、理事会の議を経て新設や改廃が行われる。時代のニーズに呼応して技術的課題の審議、問題の解決を図る役割を果たしている。委員会によってその規模や検討対象が異なっているが、賛同する団体会員および学識経験者を含む個人会員が参画・協力して取り組んでいるのが委員会の一般的な活動形態である。

活動の成果は報告書としてまとめられ、多くは講習会やシンポジウムの開催あるいは規格標準化の作業や出版などで普及・啓発を図っている。さらに、委員会相互の連携や、専門部会や国際機関を含めた関連学会・協会との交流を実施したり、見学会などを実施したりすることが活動の内容である。

ここ10年間、これまで9つの委員会が活動してきたが、1976年8月創設された「溶接データシステム研究委員会」（WDS委員会）が2005年3月をもってコンピュータ利用による研究開発の役割を果たし終えたとして閉会となり、現在、8つの委員会が活動継続中である。

委員会活動は協会としても重要な会員サービスの一環であり、ニーズの沿うものが求められる。そのニーズは時代とともに大きく変化するため、ニーズを的確に把握し、適切な対応をタイミングよく実施することが大切である。

委員会活動を通じて数々の業績・成果が積み上げられるとともに、技術の発展と伝承に寄与していることは、関係者から評価されていることから明らかといえる。

本編では、2005年3月に閉会した溶接データシステム研究委員会を含め、9つの委員会について、主にここ10年間の活動について掲載した。